

様式第3号

福 井 県

『嶺北地域公共交通計画（案）』に関する 県民パブリックコメント意見募集の結果

令和6年1月31日
福井県未来創造部新幹線・交通まちづくり局
交通まちづくり課

「嶺北地域公共交通計画（案）」について、県民の皆様から貴重な御意見をいただき、厚くお礼申し上げます。提出されました御意見の概要等を、以下のとおり公表します。

- 意見募集期間
令和5年12月1日（金）～12月15日（金）
- 意見件数（意見提出者数）
24件（5名）
- 提出された意見の概要および県・嶺北市町の考え方
別添資料のとおり

【お問合せ先】

福井県未来創造部新幹線・交通まちづくり局交通まちづくり課

TEL：0776-20-0774

FAX：0776-20-0729

メール：kotsuka@pref.fukui.lg.jp

嶺北地域公共交通計画（案）に関する
県民パブリックコメント意見の概要と県および嶺北市町の考え方

全般

	意見概要	県および嶺北市町の考え方
1	<p>新幹線からの観光ルートを充実させるだけでなく、生活に資する交通を充実させるべき。</p> <p>観光客向けの二次交通だけではなく、地域住民向けの使える交通の確立が必要であり、計画にも生活交通について十分記載するべき。</p>	<p>本計画では、住民生活における公共交通の維持・確保についても重要と考えており、施策の方向性の1つ目に持続可能な交通ネットワークの構築を位置付けております。</p>
2	<p>公共交通人口カバー率について、バス停から半径 500m 以内ではなく、半径 300m 以内を対象として算出すべき。</p> <p>また、常時利用できる便数がないとカバーできているとは言えないため、便数も1時間に1本以上のものを対象として算出すべき。</p>	<p>人口カバー率については国土交通省の手引きなどを参考に一般的な手法により算出しております。</p> <p>交通空白地はほぼないものの、運行本数が少ない状況と認識しており、その旨を計画案に記載しております（7頁 Point II-①）。</p>

方向性1 持続可能な交通ネットワークの構築

	意見概要	県および嶺北市町の考え方
3	<p>施策1-2に関して、スクールバスのみならず、公用車を乗合バス化できないか。</p> <p>特に福井市と直結する公共交通機関を持たない池田町は、町職員が県庁とを往来する公用車（バスでもよい）に相乗り可能とすれば、幹線系統バスと同等になり得る。</p>	<p>御意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、池田町では、福井市との間において、町所有のバスを活用した町民協働バス「マイバス」を運行し、住民の移動手段を確保しております。</p> <p>（参考 URL） 町民協働バス「マイバス」： https://www.town.ikeda.fukui.jp/kurashi/anken/1375/p002468.html</p>
4	<p>施策1-3に関して、武生駅にある貨物列車用の退避設備を撤去（鯖江駅と今庄駅に機能移転）したうえで、福井鉄道の線路を構内に伸ばし、ハピラインとの乗り換えの利便性を高めるべき。</p> <p>ハピライン武生駅止まりの列車を王子保駅まで延長するべき。これにより、新設駅を使った武生商工高校への通学客や王子保工場団地等への通勤客の利用を取り込む。</p> <p>さらに福井鉄道も王子保駅まで乗り入れできるようにし、移動の利便性を向上させるべき。</p>	<p>地形や建物などの地理的条件や費用対効果の観点から困難な面はございますが、御意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
5	<p>地域活性化や魅力ある地域づくりのために公共交通を行政が十分に支える仕組みが必要である。</p>	<p>本計画では、国・県・市町において公共交通への支援を行うこととしております。</p>
6	<p>道路の新設は今後抑え、新設を抑えた分の予算を公共交通機関へ回すべき。（鉄道・バス維持、運転手などの賃上げ、増便、路線増設、運賃上昇抑制など）</p>	<p>日常生活を支えるとともに有事の際の避難ルートにもなる道路の整備についても重要と考えております。</p> <p>本計画では、持続可能な交通ネットワークの構築のため、交通事業者間の連携強化による運営効率化や、公共交通を支える人材の確保を進めることとしております。</p>
7	<p>運転手不足、降雪対応、景観保護などの観点から、無人運転での地下鉄建設を行うべき。</p>	<p>費用対効果の観点から地下鉄建設は困難な面もございますので、公共交通を支える人材の確保や異常気象時の早期運行確保を図る施策を進めてまいります。</p>

	意見概要	県および嶺北市町の考え方
8	<p>自家用車保有率1位ということは、潜在的な供給能力（車、運転者）も高いため、国に先駆け、特区としてライドシェアを実施してはどうか。</p> <p>県への登録制にし、事故時の保険を徹底等すれば可能かと考える。</p>	<p>本計画においても、地域の実情に応じた移動手段の確保を進めることとしております。</p> <p>なお、移動手段の確保に当たっては、自家用有償旅客運送なども含めたあらゆる手段の活用が必要と考えております。</p>
9	<p>タクシーについて、新幹線開業後暫くは観光客の利用増で供給不足となり、通院等で利用している地域住民が不便になる可能性が大きいのではないかと。</p>	<p>本計画では、住民生活における公共交通の維持・確保についても重要と考えており、施策の方向性の1つ目に持続可能な交通ネットワークの構築を位置付けております。</p> <p>タクシーについては、配車アプリの導入などによる稼働率の向上や第二種免許取得支援などによる人材確保に努めてまいります。</p>
10	<p>普通の自動車ではやや不安あるが、免許返納まではしたくない層をカバーするため、超小型車を推進してはどうか。</p> <p>例えば、リミッターで最高速度30km/hに抑制、急加速しない等の仕組みの導入など。</p>	<p>御意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
11	<p>キャッシュレス化について、交通系ICカードもよいが、より安価なオープンループ※も検討されたい。</p> <p>※非接触のタッチ決済に対応したクレジットカード</p>	<p>本計画では、北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、全国的に普及している交通系ICカードの導入を進めることとしております。</p>
12	<p>施策3-1に関して、将来的には、武生駅の連続立体交差事業と周辺の区画整理事業を起爆剤にした駅周辺整備を構想してはいかがか。</p> <p>また、市街地内にある現駅舎の反対側からの利用客を新たに呼び込むため、構内連絡橋や安全な構内踏切を整備し、これまで利用がしにくかった駅裏からのアクセスを向上させるべき。</p>	<p>御意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>

	意見概要	県および嶺北市町の考え方
1 3	<p>福井駅などの商業化を目指す主要駅周辺には住居を増やさず、マンションなどの住居や福祉施設は郊外駅近くに作るべき。</p> <p>運転しない利用者を集約するため、郊外ではなく中心市街地に電車・バスの路線、ダイヤを集中しコンパクトシティ化を図ってはどうか。</p>	<p>本計画では、各市町が策定する立地適正化計画や都市計画マスタープラン等の各種計画と連携したまちづくりを進めることとしております。</p>
1 4	<p>施策4-1に関して、平常時の利用にメリットを見いだす施策を展開するべき。恒常的に公共交通の利用者を増やし、天候に左右されることのないよう乗客数の平準化ができれば、事業者側にとってもメリットがある。</p>	<p>日常生活における利用促進について、時間や費用の面で公共交通による移動が自家用車と比べてメリットがある旨の普及啓発を行っており、引き続き周知に努めていきます。</p>
1 5	<p>施策4-1に関して、乗り方がわからなくて恥ずかしいから電車・バスを敬遠している大人は多いと思われる。県のホームページで紹介されている子ども、学生向けの電車・バスの乗り方リーフレットはよくできているので、大人用も作成して企業に配布するなど、これまで公共交通利用に縁がなかった人にも関心を持ってもらえるとよい。</p>	<p>本計画では、乗車体験や乗り方教室など公共交通に触れる機会を増やす施策を進めることとしております。ご提案いただいた利用促進策についても、計画を進めるに当たっての参考とさせていただきます。</p>
1 6	<p>公共交通の利用促進については、公からの呼びかけだけではなく、実際の利用者からの声かけや口コミが重要であり、それが施策4にある「エピソードの募集・紹介」に当たるのかと納得した。</p> <p>加えて、普段使いの公共交通がご当地映画や小説・コミックに取り上げられると、関心持ってもらえて良い。</p>	<p>公共交通を身近に感じるエピソード募集・紹介などの取組みを継続して実施してまいりたいと考えております。</p> <p>引き続き、県民に関心を持ってもらえる施策を進めてまいります。</p>
1 7	<p>自家用車移動では「損」だと思わせる政策が必要である。(例えば「無料駐車場の撤廃」「有料駐車場料金上げ」「学生送迎の路駐取り締まり強化」「一人二台以上の自家用車保有者への課税」)。</p> <p>それによる収益・税収を公共交通機関の充実へ回すべき。</p>	<p>時間や費用の面で公共交通による移動が自家用車と比べてメリットがある旨の普及啓発を行っており、引き続き周知に努めていきます。</p>

	意見概要	県および嶺北市町の考え方
18	高齢化社会において免許返納者のための生活交通の拡充が求められる。	本計画では、免許返納者への交通系 IC カードや公共交通利用券の配布等、高齢者に配慮した施策を進めることとしております。
19	カーフリーデーなどの公共交通の啓発活動をより高い頻度で取組むべき。 また、実施に当たっては民間と行政が一体となったオール福井で定期的なアクションを実行していくべき。	本計画では、関係者が連携した啓発活動や利用促進策を継続的に実施することとしております。
20	中長期的に見て、加速度的に増加する高齢者に対応できるのか。もっと思い切った対策が必要ではないか。	本計画では、高齢者による自家用車運転の事故を防ぐことを目的に、免許返納者への交通系 IC カードや公共交通利用券の配布等、高齢者に配慮した施策を進めてまいります。

方向性2 新幹線駅からの利便性の高い二次交通の充実

	意見概要	県および嶺北市町の考え方
2 1	<p>施策6-1に関して、新幹線用に用意したJRの乗車券でハピラインが振替乗車可能なシステムにできると良い。</p>	<p>御意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
2 2	<p>施策6-1に関して、ワンコインタクシー路線を開設し、新幹線と同時に予約可能としてはどうか。</p> <p>早割価格も設定すると、事前の車両手配もやりやすい。</p>	<p>円滑な周遊観光実現に向け、あわら市や丹南地域では定額タクシーの運行を始めているところです。</p> <p>御意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>(参考 URL)</p> <p>あわら市「あわらぐるっとタクシー」： https://www.city.awara.lg.jp/mokuteki/industry/kanko/konkojouhou/p013285.html</p> <p>鯖江市「さばえ定額周遊タクシー」： https://www.city.sabae.fukui.jp/kanko-sangyo/kanko_joho/taxi.html</p> <p>越前市「迎車でGO!」： https://www.echizen-tourism.jp/news/detail/44</p> <p>丹南地域「丹南地域定額タクシー」： https://www.city.echizen.lg.jp/office/060/050/tannantaxi.html</p>
2 3	<p>着地型観光バスの名前は「はぴバス」などではなく、どこの周回バスなのかわかりやすい名前にするべき。</p>	<p>「はぴバス」の名称については、運行事業者等で協議を重ね、身も心の「幸福」で満たされる旅を、観光客の皆様へ届けるという意味合いで決定しました。</p> <p>御意見につきましては、今後の「はぴバス」運行に当たっての参考とさせていただきます。</p>
2 4	<p>施策7-1に関して、路線バスのミッシングリンクの解消のため、市町境で乗り捨て可能な観光用レンタサイクルサービスを展開してはいかがか。</p> <p>越前町-南越前町間の国道305号や福井市-池田町間の国道476号は快適なサイクリングコースなので、バスのダイヤを調整することで観光周遊コースを組むことが可能となる。</p>	<p>御意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>